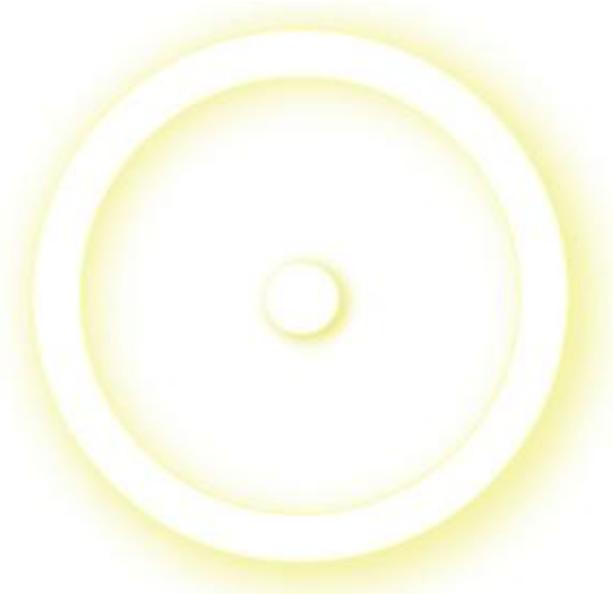


# O n e n e s s

本部1期生 天鏡 M i r a c l e

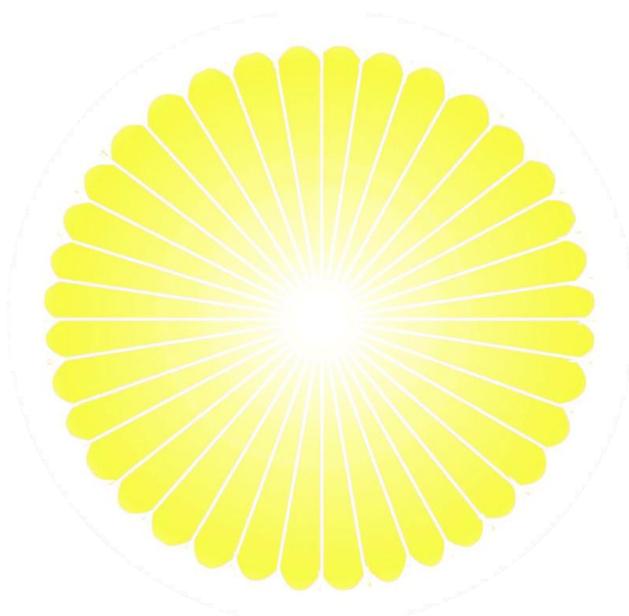


「宇宙は、たった一つの光子・根源フォトンから生まれた。」Ai先生のアセンション・アカデミーでは、この根源フォトンを学び、探究することから始まりました。根源フォトンとは、あらゆる全てを産み出した「親 = 皇御親」で、宇宙に存在する全てが皇御親にとっての愛する「子」であること。アセンションとは、子(人・地球・宇宙すべて)が成長・進化することであり、その究極は皇御親へと至ることである、と理解しました。マルテンが象徴する最も基本で重要なことは、この「根源フォトン」で、その意味は、中央の小さいテンが根源フォトン=皇御親を表し、周りのマルが皇御親により産み出された全て=宇宙である、ということです。このことを明確に理解した時、宇宙とはそれ自体が一つの家族で、「すべては繋がっている=ワンネスである」と真にイメージできるようになり、マルとテンは相関関係にあることが理解できました。

では、宇宙万物の親である皇御親の願いとは、どんなものでしょう？皇御親に愛を贈ることや日々のライトワークの実践を通して、皇御親の願いとは地上の親と本質は同じであることが少しずつ理解できてきました。それは「愛する子が健やかに、真(神)の姿へと成長しながら幸せになるように」との願いであり、皇御親は、子の成長・進化・アセンション成就のため、ただただ、「愛を贈っている」ということです。そして、アカデミーでの多岐にわたる学びの中、この万物の親である皇御親の宇宙一深く、大きい、至高の愛を探求することこそが最も重要であり、アセンションのカギであるということも、「そうである」という感覚とともにわかってきた=思い出してきました。

皇御親へ愛を贈る。このことを毎日、毎瞬、意識すること、それを現在も続けています。

意識を向ければ向けるほど、愛を贈れば贈るほど、皇御親とのつながりが強くなっていくのが感じられます。実践してわかったことは、皇御親からの愛は、常に贈られていたということです。根源フォトンとは太陽といえ、宇宙の始まりから愛である光で遍く照らして下さっているのだと。その愛は、無条件・無償で、私が永い間求めていたものでした。繋がった時はウルウル・・・と魂からただ泣けてきて、それは誰にとっても共通のサインのようです。その「ウルウル・・・」エネルギーを言葉に置き換えると、「どんなことをしてでも、子である全てを護り、助け、育みたい。その為であったら、この身を呈してもいとわない。」というような究極の女性性・母性愛であり、慈愛そのものです。そして同時に浮かぶヴィジョンは、黄金の菊華です。



皇御親から学んだことの一つは、常に全体のために在るという奉仕・献身の姿勢です。そして、すべては一つ、ワンネスである、と！探求は、まだまだこれからも無限に続きますが、この至高の愛こそがすべてを愛へと還し、最終・最大アセンションを成就させると、確信しています。つまりはその愛を地球に降ろし、つなげることが最も重要なライトワークになるのだと！では、どうやって！？それは、私達「子」がそのポータル(器)になり、皇御親の愛そのものになって自ら発現することであり、無私となって皇御親へ愛を贈るとき、そうなれるということです！

『神の雛型』として創られた人が、真に神と一体化した神人になるという『神人の創出』が、この宇宙の目的とも言われています。様々な場所で、様々な予言されていた『神人(救世主)』の誕生。その真の姿が、中今、人の魂を通して具現化されつつあるのを感じます。宇宙の目的を達成した時、アセンションが達成される。その日が間近であることをワクワクの歓喜とともに、確信しています。そして、アセンション後の愛の世界で、より多くの家族の皆さんと祝えることを、心より楽しみにしています。